

会 議 速 報

令和2年1月30日

件 名	令和元年度第2回鹿児島市船舶事業経営審議会	作 成 課	船舶局総務課
日 時	令和2年1月29日(水) 10:10~11:40		
場 所	桜島港フェリーターミナル1階 多目的ホール		
出 席 者	経営審議会委員8名(欠席者1名)		
市出席者	船舶局長、次長、営業課長、船舶運航課長、関係職員		
協議・報告等	事務局報告 (1) 平成30年度鹿児島市船舶事業特別会計決算 (2) 令和元年度鹿児島市船舶事業経営計画実施状況		
主な意見等	(1) 平成30年度鹿児島市船舶事業特別会計決算 ○フェリーを使ってもらうためのPRをどのようにするか。桜島フェリーPR・利用促進事業のようなPR事業は大事である。令和2年度は、オリンピック・パラリンピック、かごしま国体があるので、積極的に展開していただきたい。 ○近年は赤字が続いているということで、今後は、外国人観光客を取り込むなどさらに観光に力を入れないと赤字解消につながらないのではないかと。		
	(2) 令和元年度鹿児島市船舶事業経営計画実施状況 ○具体的方策の「安全運航体制の推進」では、昨年の事故等を踏まえ内容を修正すべきではないかと。 ⇒局内で再度整理して、適切な表現に改めます。		
	(3) その他 ○キャッシュレスシステムを平成30年9月から導入しているが、利用状況はいかがかと。 ⇒観光客は交通系ICカード等のキャッシュレス利用の割合が多い印象である。 収益の約10%はキャッシュレス利用である。 ○フェリーを利用してもらうためには、桜島に魅力的なものがないといけないと思う。 桜島でしか体験できないこと、桜島でしか買えないものというのがあるとフェリーの利用増につながるのではないかと。		